

二部地区活性化だより 野上川の風

発行
二部地区活性化推進機構

編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159



共生の里づくり始動

厳しい農家経済の再生への一助で
始まったのがこの活動
農家組織と企業が連携して
新しい特産物の育成と
流通システムを考える対策だ

協定を結んだのは、米子の東亜青果
とりあえず始めたのが
地域の原木きのこの集出荷
ほぼ毎日、東亜の車が二部に來る
集出荷の労力は、大幅な改善だ

新年度からは、参加農家を募集して
取扱い品目も野菜や山菜に拡大し
その生産、加工技術も、研修する

この活動が、二部地区活性化に
大きく貢献することを期待して

去る七月六日、
二部公民館で県内
初第一号の共生の
里づくり事業調印
式が行われた。二
部地区活性化推進
機構と東亜青果、
平井知事、森安町
長が立会された。

会長就任挨拶

田 邊 公 教



この度の臨時委員総会において、二部地区活性化推進機構の発足当時から十二年の長きに渉り会長を勤められた住田 泰会長が引退表明されました。

在任中に残された数々の実績とその成果は、地域内外から高く評価されております。永い間本当にご苦勞様でした。

さて、私こと住田会長の後を受けて会長に任せられることになりました。

まったく予期もしなかったことでその任務がまっとうできるかと大変戸惑っております。前会長をはじめ役員の皆様のご指導とご支援を頂き一生懸命努めたいと思っておりますのでよりしくお願い申し上げます。

二部地区活性化推進機構は前会長

退任のごあいさつ

住 田 泰

この度、大変わがままを申し上げて本機構の会長職を辞任させて頂きました。引退の理由は、八十歳の峠を越えて年々進行する心身の衰えでした。

組織設立以来、長い様で短かったこの十二年でしたが、それは走馬灯のような思い出が尽きません。

この間至らぬ会長でありましたが、地域住民のご理解ご協力のもと、歴代の委員各位、そして役員の皆様のご支援で大過なく今日を迎えることができました。本当に有難うござい

の努力によりその活動は注目されております。

また各集落での活性化の事業も取り組まれておりますし、三部二区、二部、福岡では集落再編もされました。

しかしながら二部地区の今後は必ずしも明るい材料ばかりではありません。少子高齢化はまだまだ進み過疎化は今後も進むことが予測されます。

また、少子化対策の一環として小学校の統合も検討されております。

このままでは二部地区の衰退が一段と進行することも予測されます。このような実状のもとで二部地区活性化推進機構の果たす役割が大変重要になってまいります。皆様のご意見をお聞かせいただきながら二部地区活性化のため一生懸命頑張りたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

ました。

二部地区の活性化に向けた地域づくりも順次軌道に乗りつつあり、未だ途半ばではあります。その成果が評価されてくるようになったことは喜ばしいことであります。

退任後も力の許す限り、新役員体制を応援して更なる地域発展に微力を尽くしたいと念じて止みません。

以上充分に感謝の意を尽くしませんが、一言お礼を申し上げます。ご挨拶といたします。

平成22年度事業計画

今年では本会設立12年目の年であります。今後も地域住民各位の一層の信頼と多岐に亘るニーズに対応できる会の運営を目指します。

新年度の最重点課題を地域特産物の育成、販路拡大・各分会の事業内容の更なる充実を目指し積極的に取組みます。

各分会毎には新規事業も加えた事業計画を下記により策定しました。

部会別事業計画

(■印は新規事業)

1. 総務部会

- ア 会報「野上川の風」年2回発行
- イ 先進地視察(1泊研修)
- ウ むらづくり講演会の開催
- エ 女性対象講演会・先進地視察開催
- オ 地域特産物生産・販売促進支援(どぶろく支援)
- カ 「出雲街道今昔物語」冊子作成

2. 産業振興部会

- ア 山菜育成・特産物の育成集荷、山菜賞味会支援
- イ 有機栽培取り組み
- ウ 優良品種(米)展示・賞味会開催
- エ 盆花栽培・販売、農産物販売
- オ 新地域特産物生産・販売促進支援(どぶろく支援)
- カ 共生の里づくり支援

3. 住みよい環境部会

- ア 河川のヨシ刈りボランティアの推進
- イ ゴミ減量作戦への協力(看板作成)
- ウ 道路・河川の一斉清掃(春、秋及び計2回)

4. 趣味と生きがい部会

- ア たたらまつり、高齢者学級への協力
- イ 各種同好会活動の支援(水墨画・絵手紙・編物・染物・生花・古布・手芸等作品展)
- ウ 菊作り(ドーム菊・福助菊展示会)
- エ 料理講習(米粉料理)
- オ ブランター・座布団作り

5. 健康スポーツ部会

- ア 町民運動会二部地区大会への協力
- イ 二部マラソン協力
- ウ ニューススポーツ教室の開催

6. 福祉ボランティア部会

- ア 高齢者、障がい者への活動支援
- イ 介護実習の体験教室開催
- ウ 友愛訪問

7. ファンクラブ部会

- ア 二部地区の情報発信
- イ 二部地区マップの作成
- ウ 交流イベントの検討実施
- エ ふるさと小包の発送(夏・冬の二回)

平成21年度二部地区活性化推進機構決算書

収入総額 600,866 円
 支出総額 505,598 円
 差し引き 95,268 円 (22年度に繰越)

収入の部

(単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
会 費	184,500	369世帯×500円
補助金・交付金	208,000	参画型ボランティア団体活動奨励金(県)100,000円 協働のまちづくり(町)108,000円
繰 越 金	194,407	
雑 収 入	13,959	ヨシ刈り収入13,920円預金利息39円
合 計	600,866	

支出の部

科 目	決 算 額	備 考
会 議 費	21,589	コピー機使用料・トナー・ プリンターラベル・紙等
事業費	141,550	広報誌・講師謝礼・写真用紙・インク
産業振興部会	24,088	山菜賞味会材料・山菜栽培材料
住みよい環境部会	41,800	ゴミ袋代
趣味と生きがい部会	39,096	種代・除草剤・米粉材料・作品展参加費・謝礼
健康スポーツ部会	14,000	ニューススポーツ参加費
福祉ボランティア部会	10,000	交通費
新規事業準備費	0	
ファンクラブ部会	44,985	切手代・ふるさと小包諸費用
視察研修費	22,532	保険・研修費用
事務局費	82,158	切手代・トナー・封筒代・ファイル
印刷製本費	50,000	二部谷写真集印刷
雑 費	10,000	
予 備 費	3,800	
合 計	505,598	

平成22年度二部地区活性化推進機構予算書

収入総額 594,000 円
 支出総額 594,000 円
 差し引き 0 円

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
会 費	184,000	368世帯×500円
補助金・交付金	290,000	参画型ボランティア団体活動奨励金(県)100,000円 協働のまちづくり(町)190,000円
繰 越 金	95,268	前年度繰越金
雑 収 入	24,732	預金利息等
合 計	594,000	

支出の部

科 目	予 算 額	備 考
会 議 費	5,000	コピー使用料・封筒代・紙代等
事業費	140,000	講師謝礼・消耗品・広報紙印刷
産業振興部会	50,000	山菜会材料・展示食味・盆花栽培
住みよい環境部会	40,000	一斉清掃参加費・写真等
趣味と生きがい部会	50,000	菊花展・各種同好会謝礼
健康スポーツ部会	50,000	健康ウォーキング・ニューススポーツ
福祉ボランティア部会	30,000	旅費・介護教室
新規事業準備費	1,000	切手代等事務費
ファンクラブ部会	100,000	ダンボール箱・ポリ袋・乾燥剤・クリーニング他(夏・冬2回)
視察研修費	100,000	一泊視察研修(隔年)油・高速代等
事務局費	25,000	コピー機トナー代・切手代
印刷製本費	0	
雑 費	2,000	
予 備 費	1,000	
合 計	594,000	

● 役 員 名 簿 ● (平成22年～)

会 長	田邊 公教
副 会 長	白根 暢之、藤田 常雄、樋口 春子
監 事	中田 英明、岡村 昌好
事 務 局 長	石田 励次
書 記 会 計	片平 道也、伊達千登勢
部 会 長	田邊 公教、車 睦宏、影山 辰雄、浅田恵美子、大森 英一、中田 壽國、影山千世子
副 部 会 長	仲村 一男、森下 駿視、畑 嘉夫、影山由喜子、南葉 克宏、安田 紀恵、其山 守美
顧 問	住田 泰、住田 圭成、谷口 包夫、安達 允

● 部会別委員分担表 ●

◎部会長 ○副部会長

総 務 部	◎田邊 公教、○仲村 一男 加藤 正純、安達 良文、中田 瑞穂、足澤 秀基、田中 照夫、安達 健次、酒井由美子
産 業 振 興	◎車 睦宏、○森下 駿視 白根 暢之、杉原 弘徳、細田 朋子、南葉 正明、山本 厚子、忠田 延雄、金田 宏、 梶間晋二郎、大森 紀子、釜田 供巳
住みよい環境	◎影山 辰雄、○畑 嘉夫 須村 延幸、谷口 哲也、西村 昭子、大森 隆治、向田 恭信
趣味と生きがい	◎浅田恵美子、○影山由喜子 中田 京子、山口 代子、宮本 義正、上嶋 當枝、内田 要、岡田 咲子、金田 芳子
健康スポーツ	◎大森 英一、○南葉 克宏 樋口 春子、舟越 康夫、高橋 縁、住田 明穂、八橋 昭夫、仲田 勇、池口 大介、 杉本美恵子、奥田 清美、浅田 弘二、西村 康平
福祉ボランティア	◎中田 壽國、○安田 紀恵 中田 英明、白根貴美枝、池本 香代、泉原 正人、浜 秋子、車 知子、南波 礼子
ファンクラブ	◎影山千世子、○其山 守美 和泉 克司、岡村 昌好、藤田 常雄、門脇ゆかり、石田 直子、三島佐和子

わくわく! ドキドキ!

スポーツ部会長 大森 英一

「ヤッター!」「楽しい!」「もっとやりたい!」
9月26日、二部小体育館に大きな声が響き渡りました。

スポーツ部会で企画し、1年前から準備してまいりました、「二部地区活性化推進機構会長杯カローリング大会」を30名の皆さんと楽しみました。

冬のオリンピックで有名になった「カーリング」を床の上で楽しむ「カローリング」ニュースポーツとして、参加者・スポーツ部員も共に楽しみました。

参加できなかった人から、「自分もやってみたいのでまたやってほしい」と、大変好評でした。

程よい汗、程よい爽快感、程よいコミュニケーション、そして景品の伯耆牛肉と、地域の活性化につながる企画として自信を持ちました。次回の優勝は、どのチームでしょうか?

『共生の里づくり協定調印』

二部公民館長 石田 励次

県内第1号 二部地区活性化推進機構 新たな取り組み

農村と企業が特産品開発などで連携し、地域活性化を図る「共生の里づくり事業」の調印式が7月6日二部公民館で行われました。

農産物を扱う、米子市の「東亜青果」と協定書に調印しました。

調印式では、住田 泰(前会長)、秦野一憲(東亜青果社長)、平井伸治(鳥取県知事)、森安 保(伯耆町長)の4者が協定書に調印しました。

二部地区の農業は、農産物をつくるだけの農業でしたが、「東亜青果」のインターネットや販路活用した販売、地域の特色を生かした商品開発などの支援を得て、まずは二部地区で企業関係者との交流や、市場ニーズを学び今後「研究会」を開き活動内容を協議しながら、地域の活性化を目指します。

～出雲街道今昔物語～ まもなく発売!

一昨年から日本海新聞で連載された、「出雲街道今昔物語」は大変好評でした。住民から本にしてはどうかとの強い要望に応じて地域の出来ごと、行事等も挿入し一冊の本にまとめました。まもなく発売します。今に伝える地域の歴史を知るためにも一家に一冊是非お求めください。乞う、ご期待を!

活動日誌メモ

平成二十二年

(月日) (内容)

- 四、七 山菜出荷打合せ
- 四、一四 山菜出荷説明会
- 四、二二 山菜集荷開始
- 四、二八 区長協議会出席(事務局)
- 四、三〇 住環境計画研究所ヒアリング
- 五、六 山菜賞味会打合せ
- 五、一六 日本海新聞取材
- 五、二四 山菜賞味会試作品検討会
- 五、二五 農村工学研究所ヒアリング
- 五、二九 地域づくりセミナー
- 六、四 山菜賞味会
- 六、四 住環境計画研究所ヒアリング
- 六、八 福祉ボランティア部会・花回廊
- 六、一〇 共生の里打合せ (5名)
- 六、二〇 二部地区一斉清掃 (279名参加・295kg)
- 六、二七 委員総会
- 六、二九 共生の里打合せ
- 七、六 共生の里締結式
- 七、一五 地域の宝取材
- 七、二一 役員会
- 七、二五 臨時委員総会
- 七、二九 ふるさと小包準備
- 七、三〇 ふるさと小包発送式(夏仕様)
- 八、四 共生の里打合せ
- 八、一〇 盆花販売準備

(月日) (内容)

- 八、二一 盆花販売
- 八、一八 出雲街道打合せ
- 八、二二 野上川ヨシ刈り作業 (畑池地内 41名参加)
- 八、二四 伯耆町民運動会二部地区大会 打ち合せ
- 八、二九 野上川集草作業 (畑池地内 24名参加)
- 八、三一 健康スポーツ部会打合せ
- 九、七 伯耆町民運動会二部地区大会 打ち合せ
- 九、八 ほづきまちづくり塾出席
- 九、九 共生の里打合せ
- 九、一〇 日本海新聞取材・県中山間地域振興課打合せ
- 九、一三 総務部会
- 九、二五 健康スポーツ部会カローリング大会
- 九、二九 鳥取県地域づくりセンター取材

あとがき

今年は例年になく猛暑により、米の出来も一等米が非常に少なく、また、その他の農作物も不作でした。
農業に携わる者にとっては、散々な年でした。
今年の七月には「とっとり共生の里づくり」の協定が結ばれました。
定住人口の増加につながる活動を強化していきたいものです。
次回より会員の皆様の二部地区への想いや、情報提供など募集致しますので投稿をお待ちしています。